
横浜の愛好家が育てた約40点の厳選した朝顔の花を展示 三溪園にて朝顔展を開催

国指定名勝「三溪園」（所在地：横浜市中区）では、横浜の愛好家が丹精込めて育てた朝顔展を開催します。
陽光をたっぷり浴びるほど、大きな花を咲かせる「大輪朝顔」や、江戸時代に盛んに栽培され、葉や花びらのかたちが
珍しい「変顔朝顔」など、約40点の厳選した花をご覧ください。



- 日程 | 7月27日(水)～31日(日)
時間 | 9:00～12:00
会場 | 外苑 中央広場 月影の茶屋
内容 | 朝顔の展示、朝顔の作り方相談、種・苗の販売 *販売は商品が無くなり次第、終了
期間中毎日 10:00～抽選で10名様に朝顔の苗をプレゼント
料金 | 無料（入園料別）
主催 | 公益財団法人三溪園保勝会、横浜朝顔会
共催 | 公益財団法人横浜市緑の協会



-花や蔓の変化を楽しむ-
変化朝顔

メンデルが遺伝の法則を発見した年
(1865) よりも前から、江戸の人々が、
突然変異を利用して生み出した花。戦
後、わずかに残された種子から栽培され
ています。桔梗や牡丹、撫子のような花
が見られます。



-早朝に咲く貴重な花-
北京天壇

日本の朝顔の原種と言われる「北京天
壇」。遺伝学者の木原均博士が中国で
発見し命名しました。朝 9 時を過ぎる
と萎れ始めてしまうため、観賞は開園
直後の 9 時がおすすめです。

-大きさと美しさを魅力-
大輪朝顔

明治時代からはじまり、各地方で栽
培法が確立した大輪朝顔。大きいも
のは 20 cm を超えます。三溪園では
「切込み作り」や「行灯作り」の花
約 30 点を、毎朝選抜き展示しま
す。



◆三溪園について

三溪園は生糸貿易により財を成した実業家・原三溪によって、1906 年（明治 39）5 月 1 日に公開。175,000 m²に及ぶ園内には京都や鎌倉などから移築された歴史的に価値の高い建造物が巧みに配置されている。2007 年（平成 19）に国の名勝に指定。（現在、重要文化財 10 棟・横浜市指定有形文化財 3 棟）

◆施設概要

施設名	三溪園（さんけいえん）
運 営	公益財団法人三溪園保勝会
所在地	〒231-0824 神奈川県横浜市中区本牧三之谷 58-1
電話番号	045-621-0635
入園料	大人 700 円／小中学生 200 円 横浜市内在住の 65 歳以上 200 円（濱ともカードの提示が必要）
開園時間	9：00～17：00（最終入園 16：30）
アクセス	JR 根岸線根岸駅から市営バスで 10 分「本牧」下車 徒歩 10 分 横浜駅東口から市営バスで 40 分「三溪園入口」下車 徒歩 5 分
公式 HP	www.sankeien.or.jp
Instagram	www.instagram.com/sankeien_garden
Twitter	twitter.com/HSankeien



本リリースに関する報道関係者からのお問合せ

公益財団法人三溪園保勝会 事業課 広報担当 岩本・加藤

TEL：045-621-0635 / FAX：045-621-6343 MAIL：iwamoto@sankeien.or.jp